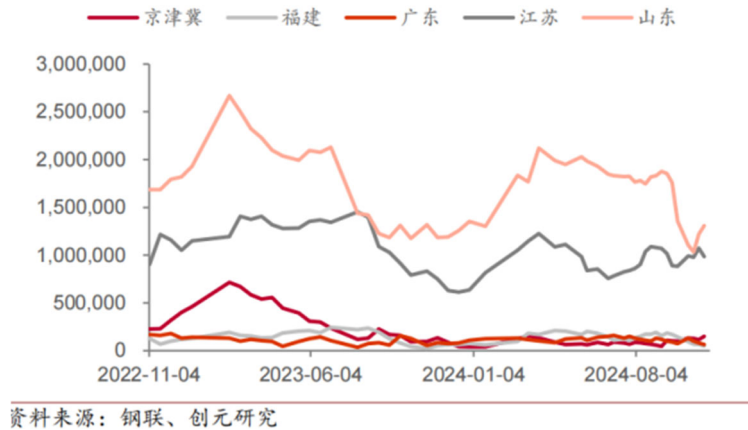


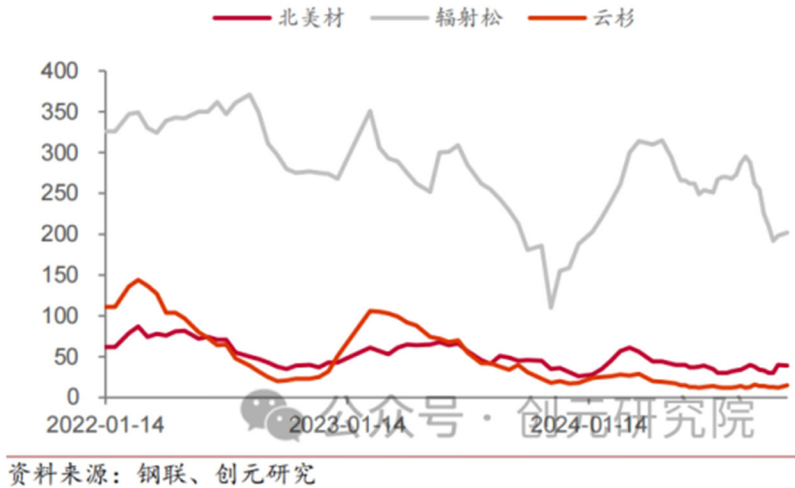
中国の原木在庫

嵐山港は、原木取扱量で中国最大、原木在庫量でも中国第一の港であり、原木の主な加工工場は概ね港の周辺に集中している。比率で見ると、江蘇省と山東省を合わせると、原木在庫量でも出荷量でも80%以上を占める。中国の原木在庫の主要樹種は、ラジアータパインである。

中国の原木在庫（地域別、単位：立米）



中国の原木在庫（種類別、単位：万立米）

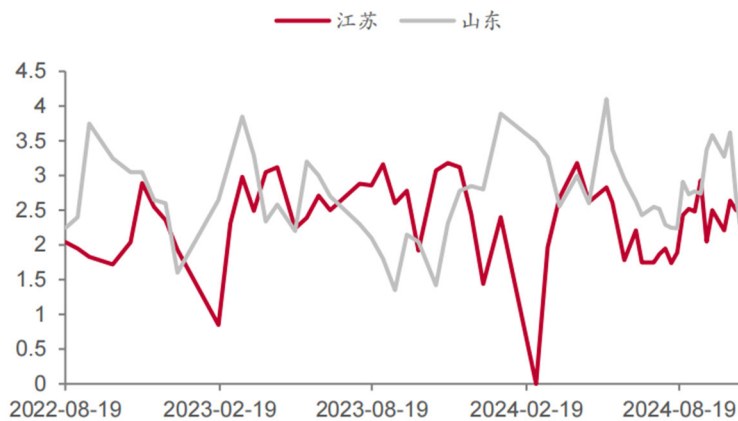


現在、中国の原木在庫は歴史上比較的低いレベルにあり、250万～350万立米前後で変動している。以前の400万～500万立米と比べると、在庫水準は大幅に低下している。その主な原因のひとつはトウヒの在庫が大幅に減少したことである。原木業界の全体的な需要不足により、在庫400万立米という業界の従来のバランス・ポイントは、新たな変化を見ることになりそうである。例年に比べて在庫は大幅に減少しているが、原木の1日平均出庫量に大きな差は見られず、全国平均で5万～7万立米と変動しているものの、江蘇省と山東省を合わせると出庫量4万～6万立米に達している。

季節変動については、原木出庫のそれと不動産業界のオン・オフシーズンによる変動はほぼ一致している。出庫のピークは主に、3～5月と9～11月の建設シーズンと、1月の春節前の集中的な資材準備と在庫整理の時期に到来する。出庫のピークとオフピークには季節的な差があり、山東省のピークシーズ

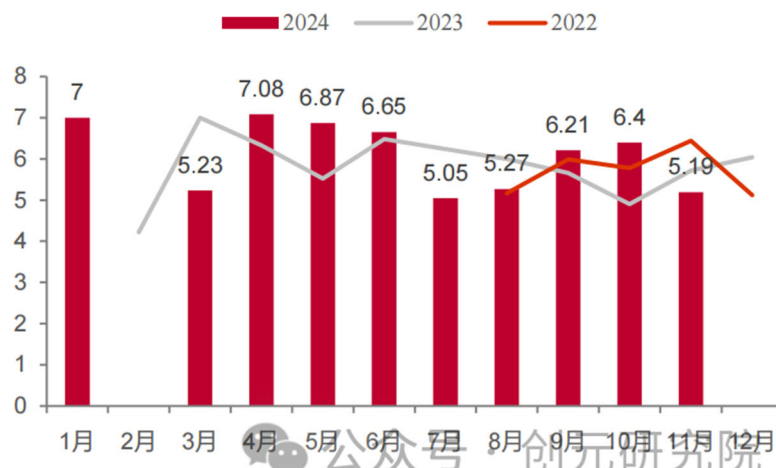
ンは江蘇省より1ヶ月ほど早い。

中国の原木1日平均出庫量（地域別、単位：万立米）



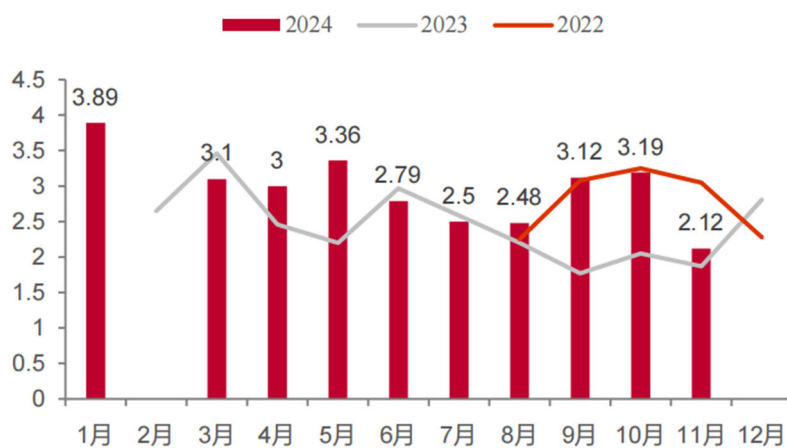
资料来源：钢联、创元研究

中国の原木1日平均出庫量の季節変動（単位：万立米）



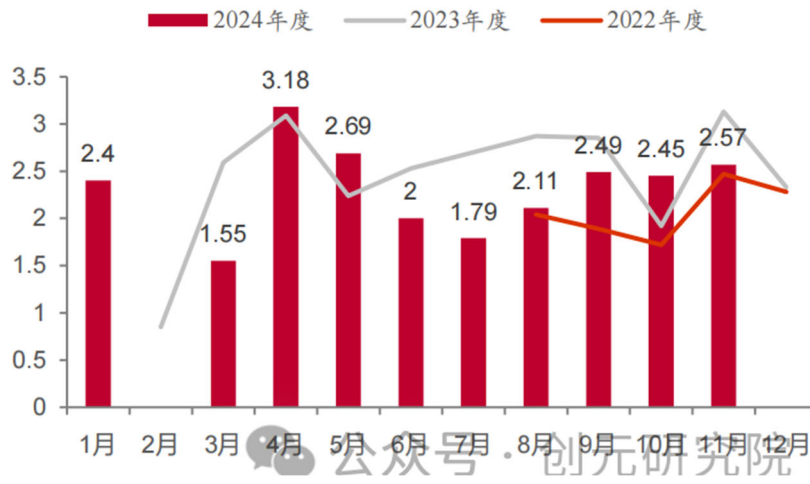
资料来源：钢联、创元研究

山東省の原木1日平均出庫量の季節変動（単位：万立米）



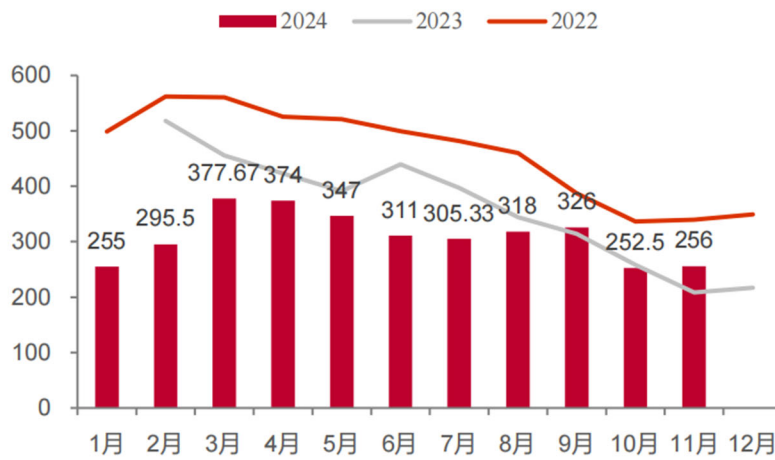
资料来源：钢联、创元研究

江蘇省の原木1日平均出庫量の季節変動（単位：万立米）

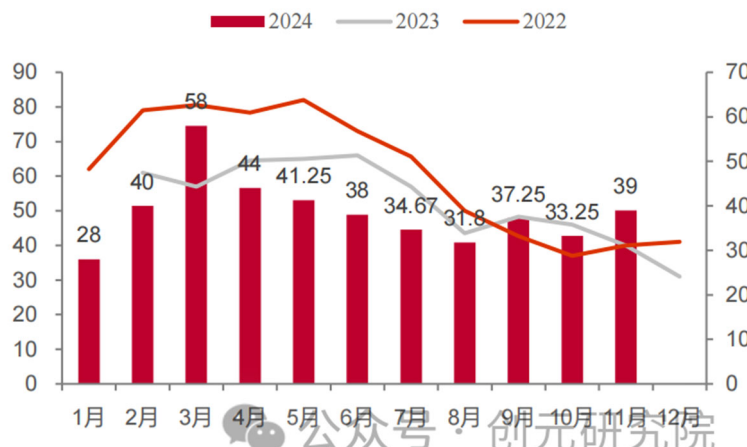


在庫の季節変動を見ると、原木の在庫は、年間の上半期が多く、下半期が少ないという季節的な特徴がある。3～5月は上半期のオンシーズンかつ在庫のピークでもある。9月～11月は下半期のオンシーズンではあるが、この時期の在庫は全国的には少ない。これら季節的な特徴は、樹種間でそれほど違いはない。

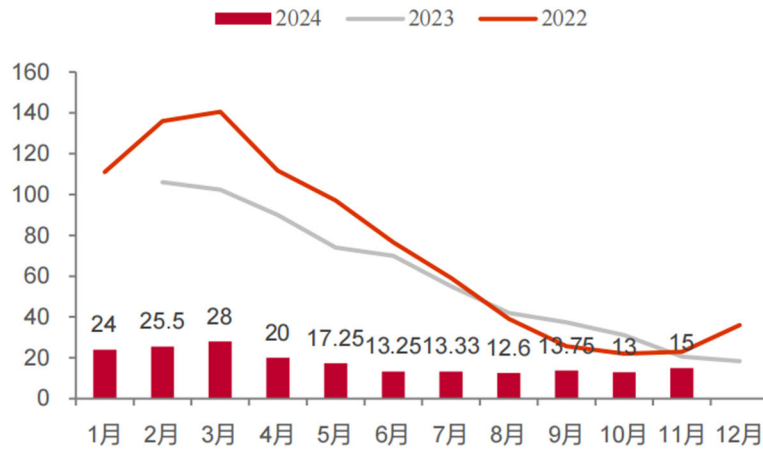
中国の原木在庫の季節変動（単位：万立米）



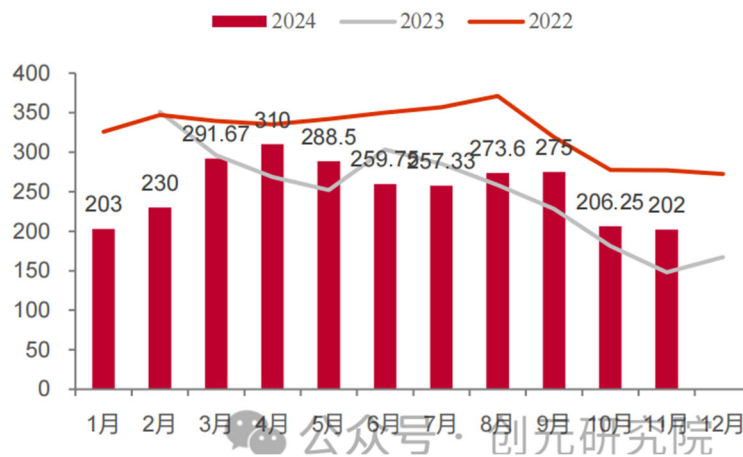
北米材原木在庫の季節変動（単位：万立米）



トウヒ原木在庫の季節変動（単位：万立米）



ラジアータパイン原木在庫の季節変動（単位：万立米）



在庫の観点から見ると、中国の原木在庫は現在中程度のレベルにあり、港湾在庫は11月から翌年3月にかけて季節的な集積期に入る。現在の1日平均の港湾出荷量は少なく、需要の低迷を背景として、企業の在庫意欲は概して強くない。近年では、木製パレットの需要がかなり安定している。フェンスパネルなどの木製構造製品の輸出はまだ成長すると予想され、将来的には、不動産以外の需要増が針葉樹原木の需給構造に与える影響が注目される。

中国の原木の港湾在庫（万立米）

